

## 6. 2 管理情報画面

特定集中治療室アシストシステム - 管理情報

※ F1キーでヘルプが表示されます

管理

◆最初に入力してください

病院/病棟

病院・病棟が登録されている必要があります

概況調査

対象期間

病院・病棟が登録されている必要があります

職員

病院・病棟及び対象期間が登録されている必要があります

◆全ての入力終了してから行ってください

報

告

◆最初に入力し、必要に応じて追加してください

診断名抽出

参照診断名

◆定期的に行ってください

一時保存

◆壊れた場合のみ行ってください

保存復旧

HOME

最初は、押せないボタンがありますが、必要な情報が入力されると押せるようになります。

### ボタン

病院/病棟：病院/病棟情報画面を表示

本システムを操作する時は、先ず、最初に調査対象となる特定集中治療室の病院情報と病棟情報を入力しなければなりません。

### ボタン

対象期間：対象期間画面を表示

本システムに情報を入力する場合は、病院/病棟情報の入力後、対象期間の情報を入力してください。

### ボタン

職員：職員情報画面を表示

調査対象となる特定集中治療室に勤務する全ての看護師（調査対象期間に在籍）の情報を入力してください。本情報は、報告データを作成するまでに実施してください。

概況調査：概況調査画面を表示

病院の概況調査票に従って全ての情報を入力してください。

本画面の看護師の勤務時間帯情報を入力しないと配置管理情報が入力できません。

### ボタン

診断名抽出：診断名抽出画面を表示

全てのICD10コードが格納されているマスタから、当該特定集中治療室で使用する可能

性のある診断名を予め抽出してください。ここで抽出した診断名は、参照診断名となり、

状態評価をする際の診断名選択に使用することとなります。予め抽出若しくは新規追加

登録しないと状態評価で主な診断名を設定できません。

### ボタン

参照診断名：参照診断名画面を表示

状態評価で使用可能となる診断名を確認できます。

また、選択時の表示順序を変更することができます。

### ボタン

一時保存：一時保存画面を表示

本システムで入力した情報を一時的に別の場所に保存することができます。保存した日付

で管理されます。フロッピーディスク等の別媒体へ保存することをお勧めします。

### ボタン

保存復旧：保存復旧画面を表示

一時保存で保存した情報を現在の情報に置きかえることができます。

この場合、現在の情報が消されます。

システムが壊れた場合に一時保存ファイルから復旧する目的以外に使用しないで下さい。

### ボタン

報告：報告画面を表示

本調査の報告データを作成します。

全ての管理情報、患者情報、配置管理情報並びに調査対象期間の全評価情報の入力が完了

していないと処理できません。職員並びに患者の個人名（番号のみ報告）と生年月日

（年齢のみ報告）は、報告されません。作成された報告データは、予め指定された方法で、

期限までに指定された場所に送ってください。



- 1) 病院番号： 病院の番号です。予め指定された番号を入力してください。
- 2) 病院名： 病院の名前を入力してください。
- 3) 病棟番号： 病棟の番号です。予め指定された番号を入力してください。
- 4) 病棟名： 病棟の名前を入力してください。

## 6. 4 対象期間画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 対象期間

※ F1キーでヘルプが表示されます

対象期間

調査対象期間 2002/10/16 ~ 2002/11/05

調査開始日を修正

HOME 登録 取消

### ボタン

Home : Home 画面に戻る

情報を登録して、本画面を閉じて、Home 画面を表示します。

### ボタン

登録 : 新しく追加修正した情報を登録して管理情報画面に戻る

### ボタン

取消 : 新しく追加修正した情報を登録しないで管理情報画面に戻る

### ボタン


調査開始日を修正 : 調査対象となる期間の開始日を指定するためのカレンダーを表示

- 1) 調査対象期間 : 調査開始日を修正ボタンで設定した開始日による期間を表示します。期間は、3週間と決まっているため、終了日は、自動的に設定されます。

## 6. 5 職員情報画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 職員情報

※ F1キーでヘルプが表示されます



# 職員

職員番号	職員名
001	職員 太郎

**特定集中治療室に勤務する看護師について入力してください**

職員番号	001	
職員名	職員 太郎	
性別	男	
生年月日	昭和50年6月9日	日付選択
年齢	27	
看護経験年数(何年目)※	12	
特定集中治療室勤務年数(何年目)※	12	
追加・修正の終了		追加・修正の取消

※ 看護経験年数と特定集中治療室勤務年数は、何年目かで年数を入力してください。

※ 職員名と生年月日は、報告データに含まれません。年齢のみ報告されます。  
職員名は、入力確認のために使用するだけです。

HOME
印刷
新規追加
修正
削除
登録
取消

入力エリアが、黄色の部分には、入力できません。「新規追加」、「修正」ボタンにより、入力エリアが、白色に変わります。全ての白色の入力エリアに入力し、必要に応じて日付選択してください。

### ボタン

**Home** : Home 画面に戻る  
情報を登録して、本画面を閉じて、Home 画面を表示します。

### ボタン

**印刷** : 職員情報を印刷  
修正中を含めた職員情報を印刷します。

新規追加：新しい職員情報を登録する画面に切り替え  
新たに職員情報を追加したい場合に押します。  
職員名と生年月日は、確認用であり、報告データには含まれません。  
全情報の入力終了後、「追加修正の終了」ボタンを押すことにより追加が完了します。

### ボタン

修正：追加済みの職員情報を修正する画面に切り替え  
先に、職員一覧表示部から修正する職員を選択し、本ボタンを押すことにより、当該職員  
の情報を修正することができます。修正終了後、「追加修正の終了」ボタンを押すこと  
により修正が完了します。

### ボタン

削除：追加済み職員情報の削除  
先に、職員一覧表示部から修正する職員を選択し、本ボタンを押すことにより、当該職員  
の情報を削除することができます。削除された職員番号は、欠番になりません。登録され  
た全職員に対して、新たに1番から振り直されます。

### ボタン

登録：新しく追加修正、削除した情報を登録して管理情報画面に戻る

### ボタン

取消：新しく追加修正、削除した情報を登録しないで管理情報画面に戻る

### ボタン

追加修正の終了：追加修正画面から一覧操作画面に戻る  
「新規追加」又は「修正」ボタンにより、職員情報を追加修正している状態から、追加  
修正した情報を生かして一覧操作が可能な元の状態に戻ります。

### ボタン

追加修正の取消：追加修正した内容を無視して追加修正画面から一覧操作画面に戻る  
「新規追加」又は「修正」ボタンにより、職員情報を追加修正している状態から、追加  
修正した情報を無視して一覧操作が可能な元の状態に戻ります。

- 1) 職員番号：職員の番号です。自動的に付けられるため、入力できません。
- 2) 職員名：職員名を入力してください。  
ただし、職員名は報告データに含まれません。入力確認用です。
- 3) 性別：男性か女性かを選択してください。

- 4) 生年月日：日付選択ボタンにより、日付を選択することにより入力されます。  
ただし、生年月日は報告データに含まれません。年齢のみ報告されます。
- 5) 年齢：生年月日を入力することにより自動的に計算されます。
- 6) 看護経験年数：当該職員の看護の経験年数を何年目かで入力してください。
- 7) 当該特定集中治療室勤務年数：当該職員の当該特定集中治療室における勤務年数を何年目かで  
入力してください。



## 6. 6 概況調査画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 概況調査

※ F1キーでヘルプが表示されます

**概況調査**

病院番号 345      病棟番号 12

病院名 三四五病院      病棟名 十二病棟

---

**1. 病院全体について**

病床数

うち一般病床数

平均在院日数（一般病棟）  日  
 （直近3ヶ月）（西暦 2002 年 7 月から 2002 年 9 月 まで）

---

**2. 特定集中治療室について**

治療室数

届出病床数

うち稼働病床数

平均患者数  人/日  
 （直近1年）（西暦 2001 年 10 月から 2002 年 9 月 まで）

病床利用率（在室患者の延べ人数/（病床数×365日））  %  
 （直近1年）（西暦 2001 年 10 月から 2002 年 9 月 まで）

平均在室日数  日  
 （直近3ヶ月）（西暦 2002 年 7 月から 2002 年 9 月 まで）

死亡率（治療室内における死亡）  %  
 （直近1年）（西暦 2001 年 10 月から 2002 年 9 月 まで）

再入室率  %  
 （直近1年）（西暦 2001 年 10 月から 2002 年 9 月 まで）

---

**特定集中治療室の看護師の勤務時間帯**

※ 該当する勤務帯の欄のみ入力してください  
 ※ 24時間制で入力してください

日勤  時  分 ~  時  分

夜勤  時  分 ~  時  分

準夜勤  時  分 ~  時  分

深夜勤  時  分 ~  時  分

早出  時  分 ~  時  分

選出  時  分 ~  時  分

その他の勤務帯  時  分 ~  時  分

---

**特定集中治療室の在室日数の分布**  
 （前月退室患者）

1日	<input type="text" value="1"/> 人
2日	<input type="text" value="2"/> 人
3日	<input type="text" value="3"/> 人
4日	<input type="text" value="1"/> 人
5日	<input type="text" value="0"/> 人
6日	<input type="text" value="1"/> 人
7日	<input type="text" value="0"/> 人
8日	<input type="text" value="1"/> 人
9日	<input type="text" value="0"/> 人
10日	<input type="text" value="0"/> 人
11日	<input type="text" value="0"/> 人
12日	<input type="text" value="0"/> 人
13日	<input type="text" value="1"/> 人
14日	<input type="text" value="0"/> 人
14日超	<input type="text" value="1"/> 人

（西暦 2002 年 9 月）

---

HOME      印刷      登録      取消

**ボタン**

Home : Home 画面に戻る  
 情報を登録して、本画面を閉じて、Home 画面を表示します。

**ボタン**

印刷 : 概況調査情報を印刷

**ボタン**

登録 : 新しく追加修正、削除した情報を登録して管理情報画面に戻る

**ボタン**

取消 : 新しく追加修正、削除した情報を登録しないで管理情報画面に戻る

1. 病院全体について

- 1) 病床数：当該病院の病床数を入力してください。
- 2) うち一般病床数：前項の病床数のうち、一般病床数を入力してください。
- 3) 平均在院日数：一般病棟の平均在院日数を入力してください。  
また、当該日数を計算した期間（直近3ヵ月）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。

2. 特定集中治療室について

- 1) 治療室数：特定集中治療室の室数を入力してください。
- 2) 病床数：前項の全治療室の病床の合計数を入力してください。
- 3) 稼働病床数：前項の病床のうち、稼働している病床数を入力してください。
- 4) 平均患者数：平均患者数を入力してください。  
また、当該患者数を計算した期間（直近1年）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。
- 5) 病床利用率：病床利用率を入力してください。  
また、当該利用率を計算した期間（直近1年）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。
- 6) 平均在室日数：平均在室日数を入力してください。  
また、当該日数を計算した期間（直近3ヵ月）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。
- 7) 死亡率：死亡率を入力してください。  
また、当該死亡率を計算した期間（直近1年）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。
- 8) 再入室率：再入室率を入力してください。  
また、当該入室率を計算した期間（直近1年）の開始年月を入力してください。  
入力後（他の項目入力に移動時）、期間の終了年月は、自動的に表示されます。

9) 看護師の勤務時間帯：先ず、当該特定集中治療室に存在する全ての勤務時間帯の前の四角欄  
帯の  
配置  
(チェックボックス)を選択してください。次に、選択した勤務時間帯の  
全てに対して、定められた勤務時間を24時間制で入力してください。  
本情報で選択した時間帯に対して、配置管理画面で調査期間中の実  
数を入力することになります。

10) 在室日数の分布：前月(なるべく直近の月)の退室患者数を在室日数毎に入力してください。  
示された在室日数の患者が居ない場合は、ゼロを入力してください。  
また、ここで入力した在室日数の年月を入力してください。

## 6. 7 診断名抽出画面

特定疾患治療研究アセスメントシステム - 診断名抽出

診断名抽出

病棟名 F二病棟

Y88 417

先ず、章と分類をコンボ・ボックスから

リネーでヘルプが表示されます

第1章 感染症および寄生虫症 (A, B)

腸管感染症 (A00 - A09)

ICD10マスタ情報

- ⊕ A01・腸チフスおよびパラチフス
- ⊕ A02・その他のサルモネラ感染症
  - A02.0・サルモネラ腸炎
  - A02.1・サルモネラ敗血症
  - A02.2+・局所的サルモネラ感染症
  - A02.8・その他の明示されたサルモネラ感染症
  - A02.9・サルモネラ感染症, 詳細不明
- ⊕ A04・その他の細菌性腸管感染症
- ⊕ A05・その他の細菌性食中毒
- ⊕ A06・アメーバ症
- ⊕ A07・その他の原虫性腸疾患
- ⊕ A08・ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症
- ⊕ A09・感染症と推定される下痢および胃腸炎

抽出→

←削除

病棟用の参照診断名

マスタ	コード	診断名
<input type="radio"/>	A00.0	コレラ菌によるコレラ
<input type="radio"/>	A00.1	エルトールコレラ菌によるコレラ
<input type="radio"/>	A00.9	コレラ, 詳細不明
<input type="radio"/>	A03.0	志賀菌による細菌性赤痢
<input type="radio"/>	A03.1	フレクスナー菌による細菌性赤痢
<input type="radio"/>	A03.2	ボイド菌による細菌性赤痢
<input type="radio"/>	A03.9	ソネ菌による細菌性赤痢
<input type="radio"/>	A03.B	その他の細菌性赤痢
<input type="radio"/>	A03.C	細菌性赤痢, 詳細不明

[+] 部分をクリックすると、[-] になり、含まれる診断名が展開されます。

マスタから抽出したものか、新規追加したものかを

章と分類毎にマスタから抽出若しくは、新規追加された診断名

診断名新規追加 追加診断名修正 参照診断名

HOME

登録 取消

1.D10、スラに無い診断名は診断名新規追加により新しく定義ください

### ボタン

Home : Home 画面に戻る

情報を登録して、本画面を閉じて、Home 画面を表示します。

### ボタン

登録 : 新しく追加修正、削除した情報を登録して管理情報画面に戻る

### ボタン

取消 : 新しく追加修正、削除した情報を登録しないで管理情報画面に戻る

### ボタン

抽出→ : ICD10 マスタの診断名コードから診断名を抽出※

先ず、ICD10 マスタの一覧表示部から抽出する診断名を選択します。[+] 部分を選択

すると、当該グループに含まれる全ての診断名を選択したことになります。[+] 部分を

クリックして[-] にして当該グループの診断名を展開し、当該グループに含まれる診断

名から一つを選択することも可能です。この様にして、診断名を選択後、本ボタンを押す

ことにより、選択した診断名が抽出され、右側に移ります。

## ボタン

←削除：当該病棟の今回の評価用の参照診断名を削除

まず、病棟用の参照診断名の一覧表示部から削除する診断名を選択します。その後、本ボタンを押すことにより、選択した診断名が削除されます。選択した診断名が ICD10 マスタの診断名の場合は、当該診断名が左側に移ります。新規追加した診断名の場合は、当該参照用診断名から削除されます。ただし、選択した診断名が、既に今回の状態評価で使用されている場合は、削除できません。削除したい場合は、使用されている状態評価の主な診断名情報から削除した後、再度本削除処理を実施してください。

## ボタン

診断名新規追加：ICD10 マスタ以外の診断名を追加設定

ICD10 マスタに所望の診断名が無いことを確認してください。ICD10 マスタの診断名の構成に関しては、付録 B を参照してください。本ボタンを押すことにより、診断名を入力する画面が表示されますので入力してください。

## ボタン

追加診断名修正：追加診断名の修正

「診断名新規追加」ボタンにより新たに追加した診断名を変更する場合は、まず、病棟用の参照診断名の一覧表示部から修正する診断名を選択し、本ボタンを押してください。その後、診断名を入力する画面が表示されますので既存の診断名を修正してください。

## ボタン

参照診断名：参照診断名画面を表示

本ボタンを押すことにより、参照診断名画面を表示します。この場合、診断名抽出画面で新たに抽出、新規追加、修正、削除した情報は、登録した後で移動します。ただし、参照診断名画面は、章単位での表示であり、本画面は、章と分類単位であるという違いがあることに注意してください。

※ ICD10 マスタからの診断名の抽出に際しては、当該診断名が状態評価の主な診断名を設定する際に選択が容易になることに留意してください。例えば、選択した診断名だけで診断名の意味が分かり難い場合は、当該診断名の前後の診断名や当該診断名が含まれるグループ全体を抽出する等により、参照診断名から当該診断名を選択することが容易になるようにしてください。

6. 8 参照診断名画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 参照診断名

**参照診断名**

※ F1キーでヘルプが表示されます

先ず、章を選択してください。

第七章 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D)  
 第八章 眼および付属器の疾患 (H)  
 第九章 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z)

マスタ	コード	診断名
<input type="radio"/>	H10.1	急性アトピー性結膜炎
<input type="radio"/>	H10.0	粘液膿性結膜炎
<input type="radio"/>	H10.2	その他の急性結膜炎
<input type="radio"/>	H10.5	眼瞼結膜炎
<input type="radio"/>	H11.0	異状片
<input type="radio"/>	H10.3	急性結膜炎、詳細不明
<input type="radio"/>	H10.4	慢性結膜炎
<input type="radio"/>	H11.1	結膜炎および沈着症
<input type="radio"/>	H10.8	その他の結膜炎
<input type="radio"/>	H10.9	結膜炎、詳細不明
<input type="radio"/>	H11.9	結膜の障害、詳細不明
<input type="radio"/>	H11.4	その他の結膜の血管障害およびのうく囊>胞
<input type="radio"/>	H11.2	結膜瘻瘻
<input type="radio"/>	H11.3	結膜出血
<input type="radio"/>	H30.9	網脈絡膜の炎症、詳細不明
<input type="radio"/>	H11.8	結膜のその他の明示された障害
<input type="radio"/>	H30.0	網脈絡膜の局在性炎症
<input type="radio"/>	H34.1	網膜中心動脈閉塞症
<input type="radio"/>	H30.1	網脈絡膜の散在性炎症
<input type="radio"/>	H30.2	後部毛様体炎
<input type="radio"/>	H30.8	その他の網脈絡膜の炎症
<input type="radio"/>	H34.8	その他の網膜血管閉塞症
<input type="radio"/>	H34.0	一過性網膜動脈閉塞症

評価の際、選択することが容易になるように、必要に応じて診断名の並べ替えを行ってください。

※ ここに抽出された病棟用の参照診断名は、患者毎の状態を入力する画面で診断名を選択する際に使用されます。  
 この画面では、抽出された診断名が正しいことを確認すると共に、入力時の診断名選択が容易になるように章毎の診断名を並べ替えてください。  
 ※ 画面右の矢印ボタンもしくは診断名をドラッグして並べ替えを行います。

**印刷**      **登録**      **取消**

選択した章の参照用診断名が画面に表示しきれない場合は、一覧表示部の右側にスクロールバーが自動的に表示されます。▲や▼をクリックすることにより、表示する部分を変更できます。

**ボタン** 印刷：参照診断名情報を印刷

**ボタン** 登録：並べ替えた情報を登録して、元の画面（診断名抽出、管理情報画面）に戻る

**ボタン** 取消：並べ替えた情報を登録しないで、元の画面（診断名抽出、管理情報画面）に戻る

## **ボタン**

↓：選択した診断名を下に移動

まず、診断名の一覧表示部から移動させる診断名を選択し、本ボタンを押すことにより、当該診断名が下に移動します。

## **ボタン**

↑：選択した診断名を上移動

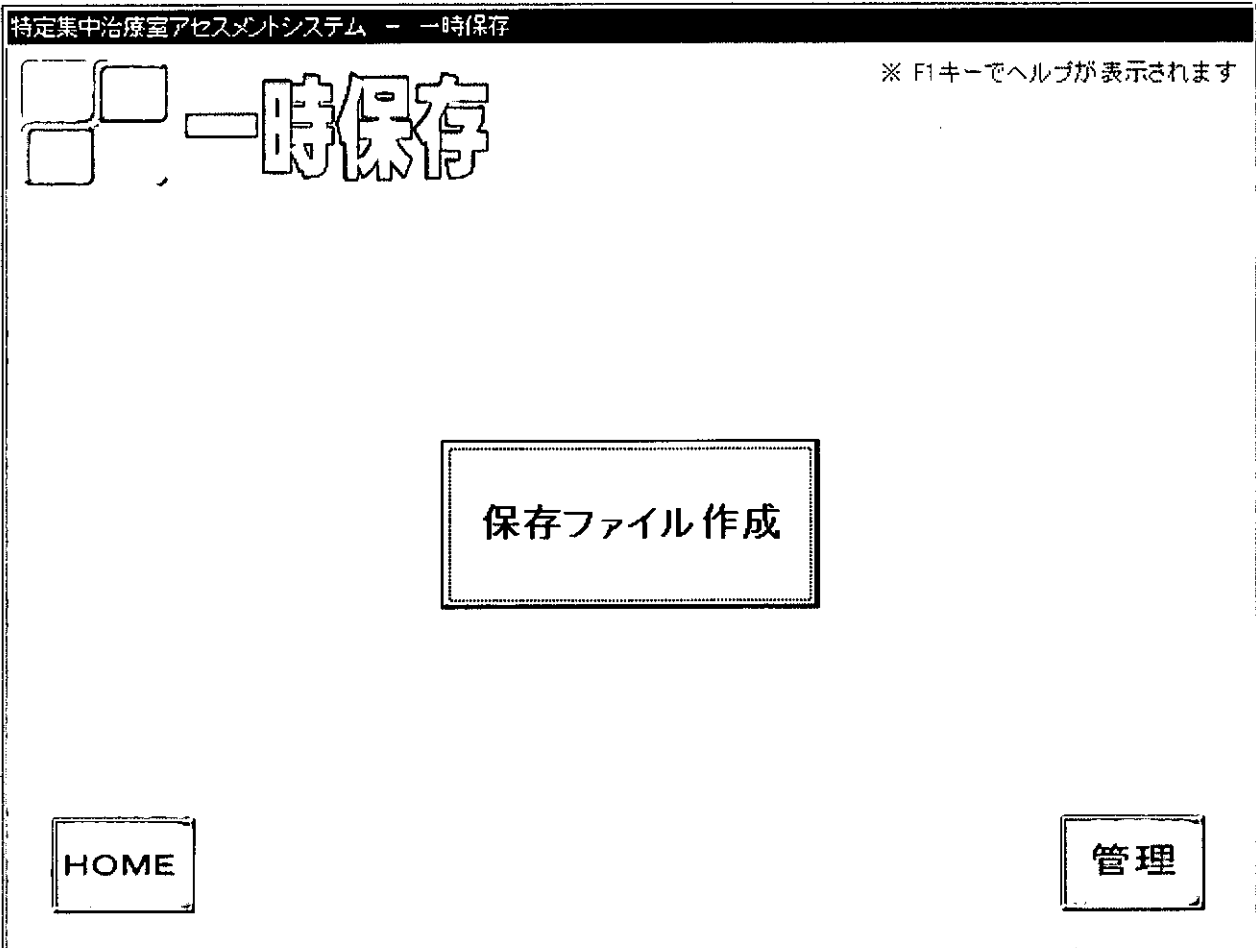
まず、診断名の一覧表示部から移動させる診断名を選択し、本ボタンを押すことにより、当該診断名が上に移動します。

ドラッグによる移動：マウス操作だけで表示順序を移動

まず、診断名の一覧表示部から移動させる診断名を選択し、マウスの左クリックを押したまま、上若しくは下にマウスを移動させることで診断名が移動します。マウスの左クリックを押した状態を離れたところまで移動します。



## 6. 9 一時保存画面



現在まで入力した情報を、ここで指定する別のファイルに保存します。  
本システム若しくは本システムが稼動するパソコンに異常が発生した場合、本処理で作成した一時保存ファイルから、「保存復旧画面」により、一時保存した時の状態に戻すことが可能になります。  
定期的に、本処理を実施し、一時保存ファイルをフロッピーディスク等のメディアに保管することをお勧めします。

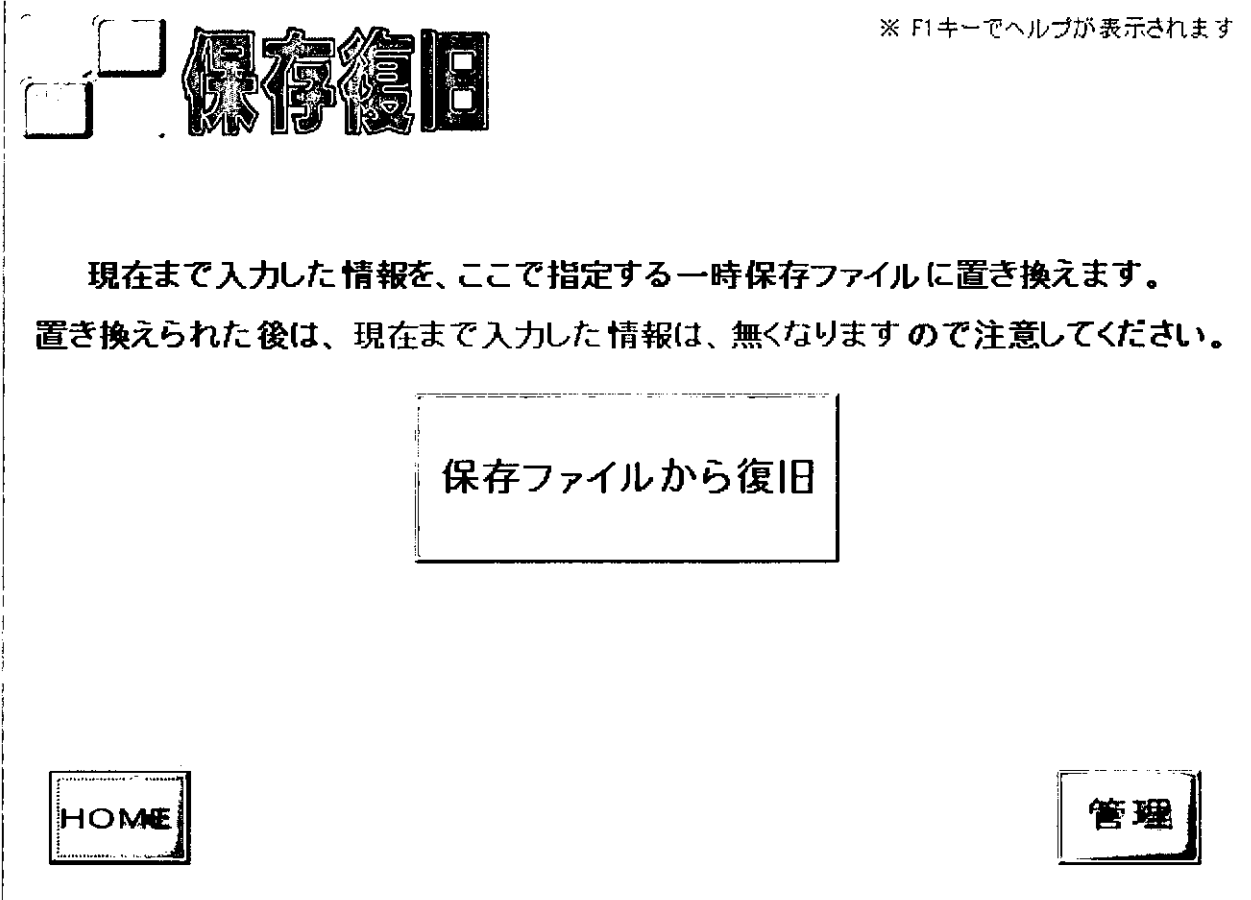
**ボタン** Home : Home 画面に戻る

**ボタン** 管理 : 管理情報画面に戻る

**ボタン** 保存ファイル作成 : 一時保存ファイルを作成  
一時保存する先を指定し、現在の全情報を当該ファイルに保存します。  
保存先をフロッピーディスク等の別メディアにすることが可能です。  
一時保存ファイルは、「保存+年+月+日.dat」という名前で作成されます。

## 6. 10 保存復旧画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 保存復旧



現在まで入力した情報を、ここで指定する一時保存ファイルに置き換えます。  
置き換えられた後は、現在まで入力した情報は、無くなりますので注意してください。

**ボタン** Home : Home 画面に戻る

**ボタン** 管理 : 管理情報画面に戻る

**ボタン** 保存ファイルから復旧 : 一時保存ファイルの情報に置き換え  
復旧する一時保存ファイルを指定し、現在の情報を一時保存ファイルの情報に置き換  
えま  
す。一時保存ファイルは、「保存+年+月+日.dat」という名前で作成されています  
ので  
復旧する状態を間違えないように注意してください。

## 6. 1 1 報告画面

特定集中治療室アセスメントシステム - 報告

※ F1キーでヘルプが表示されます

# 報告

報告データを作成する画面です。

報告データは、全てのデータ入力完了していないと作成できません。指定した対象期間の入室患者の全ての状態とAPACHE IIの入力状況が評価一覧で、「済」、「不在」若しくは「外」になっていることを確認した後に実施してください。

**報告データ作成**

HOME 管理

全ての入力完了したら、本処理を実行し、報告データを作成してください。作成した報告データ

は、予め指定された場所に、指定された期日までに送付することに留意してください。報告データは、作成する先をフロッピーディスクに指定し、フロッピーディスクをセットして実行す

ると、フロッピーディスク内に所定のフォルダと当該フォルダ内に複数のファイルが作成されます。

当該フォルダとその中の全てのファイルを変更せずそのまま送ってください。

**ボタン**

Home : Home 画面に戻る

**ボタン**

管理 : 管理情報画面に戻る

**ボタン**

報告データ作成 : 指定した場所に報告データを作成  
本ボタンを押した後、指定した場所に病院番号+病棟番号による名前のフォルダが作成されます。また、当該フォルダ内に、病院/病棟情報、概況調査情報、職員情報、追加診断

名情報、配置管理情報、患者情報と評価情報が作成されます。